

- **アライドテレスিস株式会社 修理受付窓口**

**☎ 0120-860332**  
携帯電話／PHS からは：045-476-6218  
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00  
13:00～17:00

- **保証の制限**

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命、身体に対する被害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

## 12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

- **アライドテレスिस株式会社 サポートセンター**  
**http://www.allied-tesisis.co.jp/support/info/☎ 0120-860772**  
携帯電話／PHS からは：045-476-6203  
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00  
13:00～17:00

## 13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により弊社からの連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

### 一般事項

すでに「サポートID 番号」を取得している場合、サポートID 番号をお知らせください。サポートID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてもかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

- **製品について**

○ **製品名、製品のシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）**などのハードウェア情報をお知らせください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記載されています。

（例） S/N 0047744990805087 Rev A1

- **LEDの点灯状態について**

- **お問い合わせ内容について**

○ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

- **ネットワーク構成図について**

○ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をおわせてお送りください。

○ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

## 14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスिस株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレスिसホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレスिसホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2010 アライドテレスिसホールディングス株式会社

## 15 商標について

CentreCOMは、アライドテレスिसホールディングス株式会社の登録商標です。

## 16 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 18 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

## 19 マニュアルバージョン

2010年2月 Rev.A 初版



# ファーストイーサネット・スイッチ

# CentreCOM® FS708TL V2 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708TL V2をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX ポートを8ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

### 本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用を意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生しても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意ください。

## 1 特長

- 10BASE-T/100BASE-TX ポートを8ポート装備
- 次の省エネ機能をサポート
  - ・ 使用していないポートの消費電力を自動的に抑える省電力モード（常時有効）
  - ・ UTP ケーブル長を自動判別し、消費電力を抑えるケーブル長省電力機能（常時有効）
  - ・ 切替スイッチでポートのLEDを消灯させるエコLED機能
- 全ポートMDI/MDI-X 自動切替機能をサポート
- オートネゴシエーション機能をサポート
- フローコントロール機能をサポート
  - Half Duplex 時： バックプレッシャー
  - Full Duplex 時： IEEE 802.3x PAUSE

### オプション（別売）

- 19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J08によりEIA規格の19 インチラックへの取り付けが可能
- 壁設置用ブラケット AT-BRKT-J23により、壁面への設置が可能
- マグネットKit Mにより、スチール製の壁面への設置が可能
- 電源ケーブル抜け防止金具 AT-RTNR-01に対応
- L 字型コネクタ電源ケーブル AT-PWRCBL-J01L/J01Rにより、奥行きをとらずに設置が可能

## 2 安全のために

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

本製品は、火災や感電の原因となります。火災や感電、けがの原因となります。

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

適切な部品で正しく設置する
取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。

## ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュースタンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

### 製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-tesisis.co.jp/

## 2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM FS708TL V2 本体（1台）
- 電源ケーブル\*（1.8m、1本）
- 製品保証書（1枚）
- 製品仕様書（英文、1枚）
- シリアル番号シール（2枚）
- ユーザーマニュアル（本書）

\* 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

\* 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

本製品は、火災や感電の原因となります。火災や感電、けがの原因となります。

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

適切な部品で正しく設置する
取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い
次のような場所での使用や保管はしないでください
・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュースタンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）

シンナー類不可

### 3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

### 4 各部の名称

#### ① エコLED 切替スイッチ

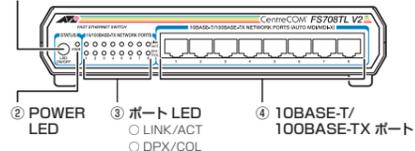


図 1 正面図

#### ① エコLED 切替スイッチ (LED ON/OFF)

エコLED 機能の有効/無効を切り替えるためのスイッチです。エコLED 機能を有効にすることにより、ポートLEDを消灯し、消費電力を低減できます。出荷時設定は「OFF (エコLED 機能無効)」です。  
■ OFF: エコLED 機能が無効になり、ポートLEDは通常通り動作します。  
■ ON: エコLED 機能が有効になり、ポートLEDは消灯します。

POWER LEDは、エコLED 機能の有効/無効にかかわらず常時点灯します。

#### ② POWER LED (緑)

本体に正常に電源が供給されているときに点灯します。

#### ③ ポートLED

○ LINK/ACT LED (緑/橙)  
ポートと接続先機器が100Mbpsでリンクしたときに緑で点灯し、10Mbpsでリンクしたときに橙で点灯します。パケットを受信しているときに点滅します。

○ DPX/COL LED (緑)  
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。Half Duplexで動作し、コリジョンが発生したときに点滅します。

#### ④ 10BASE-T/100BASE-TX ポート

UTPケーブルを接続するためのコネクタ (RJ-45) です。ケーブルは、10BASE-T 接続の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX 接続の場合はカテゴリ 5 以上のUTPを使用します。本製品の10BASE-T/100BASE-TX ポートは、2つの省エネ機能を備えています。

○ 省電力モード  
ポートが使用されていないときに、ポートの消費電力を自動的に抑えることができます。

○ ケーブル長省電力機能  
LAN ケーブルの長さを自動判別することで、供給する電力を調節し、消費電力を低減できます。

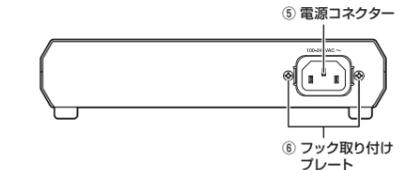


図 2 背面図

#### ⑤ 電源コネクタ

電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

#### ⑥ フック取り付けプレート

オプション (別売) の電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

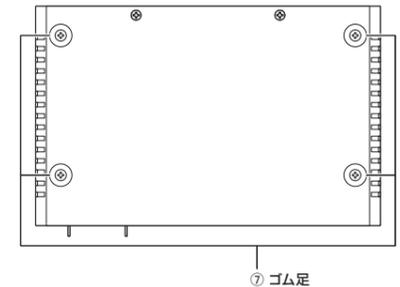


図 3 底面図

#### ⑦ ゴム足 (4 箇所)

平らなところに設置するためのゴム足です。オプション (別売) のマグネットキットを使用する場合は、ゴム足を外します。



図 4 電源ケーブル

#### ⑧ 電源プラグ

電源ケーブルを電源コンセントに接続するためのプラグです。

#### ⑨ 電源コネクタ

電源ケーブルを本製品に接続するためのコネクタです。同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご利用の場合は、設置業者にご相談ください。

### 5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

#### 設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

○ 平らなところへの水平方向の設置

オプション (別売) を利用することにより、次の方法による設置ができます。

○ ラックマウントキット (AT-RKMT-J08) による19 インチラックへの設置

○ 壁設置ブラケット (AT-BRKT-J23) による壁面への設置

○ マグネット Kit M によるスチール製壁面への設置

・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。  
・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

・電源部が下向きになる方向で設置する場合には、必ず、オプション (別売) の電源ケーブル抜け防止金具 (AT-RTNR-01) を使用し、電源ケーブルを固定してください。  
・製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

#### 設置準備

##### ● 設置するときの注意

設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体にある通風口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。

○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○ 本製品は屋外ではご使用になれません。

○ コネクタの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手 (体) でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

#### 設置

##### ● 平らなところに設置する

本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

##### オプション (別売) を利用した設置

##### ● 19 インチラックへの設置

本製品を19 インチラックに取り付ける場合には、オプションの19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J08 をご使用ください。

○ ラックマウントキットの使用法は、AT-RKMT-J08 の取扱説明書をご参照ください。

○ ラックマウントキットを使用して19 インチラックに設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。



図 5 ラックマウントキットを使用する場合の設置方向

・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。  
・本製品をオプションの19 インチラックマウントキットを使用して19 インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。  
・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

##### ● 壁面への設置

本製品の壁面への設置は、オプションの壁設置ブラケット AT-BRKT-J23 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

○ 壁設置ブラケットの使用法は、AT-BRKT-J23 の取扱説明書をご参照ください。

○ 壁設置ブラケットを使用して壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。

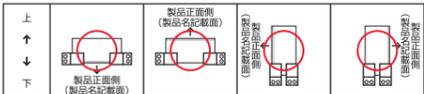


図 6 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

・壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。  
・壁設置ブラケットを使用する際は、本製品のゴム足を外した状態で設置してください。

・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。  
・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付けの際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

##### ● スチール製壁面への設置

本製品のスチール製壁面への設置は、オプションのマグネット Kit M を使用し、以下の点に注意して行ってください。

○ マグネットキットの使用法は、マグネット Kit M の取扱説明書をご参照ください。

○ 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 7 マグネットキットを使用する場合の設置方向

設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。  
・マグネットの取り付けは、マグネットキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

### 6 接続

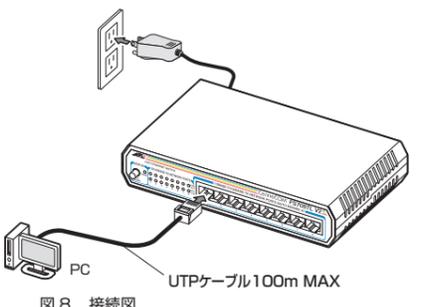


図 8 接続図

#### ネットワーク機器の接続

##### ● UTP ケーブルの接続

UTP ケーブルを使用して本製品と PC などの端末を接続します。本体の LAN ポート (RJ-45) に UTP ケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。

UTP ケーブルのコネクタ一部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

##### ● UTP ケーブルのカテゴリ

10BASE-T 接続の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

##### ● UTP ケーブルのタイプ

本製品は MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、どちらのケーブルタイプ (ストレート/クロス) でも使用できます。

##### ● UTP ケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

#### 電源の接続 (本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vで使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますので、ご注意ください。

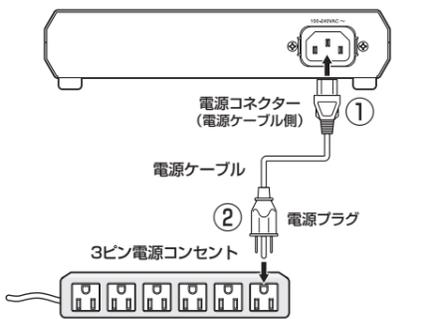


図 9 電源ケーブルの接続

##### 1 本体側の電源コネクタを接続する

図9の①をご覧ください。

電源ケーブル抜け防止対策として、オプション (別売) の電源ケーブル抜け防止金具 (AT-RTNR-01) をご使用いただけます。

オプション (別売) のL字型コネクタ電源ケーブルと電源ケーブル抜け防止金具は、同時に使用できません。(L字型コネクタ電源ケーブルは、同梱の電源ケーブルに比べて抜けにくいケーブルです。)

##### 2 電源プラグを電源コンセントに接続する

図9の②をご覧ください。  
このとき、本体前面のPOWER LEDが点灯することを確認してください。  
UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LEDが点灯します。

#### 本製品の停止

本製品を停止するには電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

### 7 構成

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、下図のとおりカスケード接続でもご使用いただけます。

#### カスケード接続

本製品は MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、どちらのケーブルタイプ (ストレート/クロス) でも使用できます。

・スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

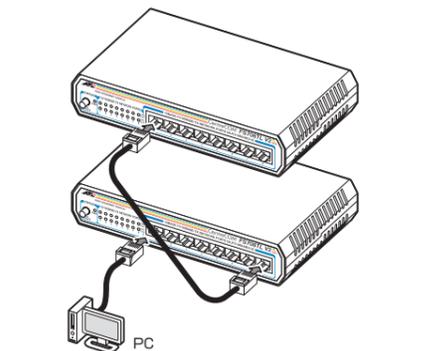


図 10 カスケード接続

### 8 設定

#### 通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の丸印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードを Half Duplex に設定してください。

接続先ポート	FS708TL V2	
10M	Half	○
	Full	—
	Auto	○
100M	Half	○
	Full	—
	Auto	○

### 9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

##### ● POWER LED は点灯していますか?

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

##### ● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

##### ● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LED は接続機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ LED ON/OFF スwitchを確認してください。  
電力消費を低減するため、LED を消灯している場合があります。エコLED 切替スイッチを操作して、エコLED 機能の動作を切り替えてみてください。

○ 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。  
接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

○ 正しいUTP ケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

○ UTP ケーブルに問題がないか確認してください。  
ケーブルの不良は外観からは判断しにくい (結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

○ ケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。  
2つのネットワーク機器の直接リンクを構成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。

○ ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。  
特定のポートが故障している可能性もあります。

○ 接続先機器の通信モードを確認してください。  
本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。  
IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品のポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

### 10 製品仕様

準拠規格	IEEE 802.3 IEEE 802.3u IEEE 802.3x	10BASE-T 100BASE-TX Flow Control
適合規格	UL60950-1 CSA C22.2 No.60950-1	
安全規格	VCCI クラス B	
EMI 規格	VCCI クラス B	
電源部	定格入力電圧	AC100-240V
	入力電圧範囲	AC90-264V
	定格周波数	50/60Hz
	定格入力電流	0.3A
	最大入力電流 (実測値)	0.1A
	平均消費電力	2.6W (最大6.5W)
	平均発熱量	9.4kJ/h (最大23kJ/h)
環境条件	動作時温度	0 ~ 40℃
	動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
	保管時温度	-20 ~ 60℃
	保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	幅	195(W)×125(D)×38(H)mm
質量		800g
スイッチング方式		ストア&フワード
MAC アドレス登録数		1K (最大)
MAC アドレス保持時間*		200 ~ 300 秒
メモリー容量		パケットバッファ容量 96KByte

\* 本製品に登録されたMACアドレスは、MAC アドレス保持時間が経過するとリセットされます。また、ポートの抜き差しを行っても、MAC アドレス保持時間を経過しないとMACアドレスはリセットされませんのでご注意ください。

### 11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。